

病害虫発生予察注意報(第2号)

平成29年10月31日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：黒斑細菌病

作物名：秋冬ダイコン

1 発生地域：県内全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- (1) 10月の秋ダイコン(三浦半島地区以外)巡回調査における黒斑細菌病の発病株率は0.9%(平成0.0%)、発生度3.6(平成0.0)、10月の冬ダイコン(三浦半島地区)巡回調査では発病株率が1.4%(平成0.5%)、発生度10.0(平成1.0)であり、10月の発生としては過去10年では一番高い。
- (2) 本年10月23日に上陸通過した台風21号の強風雨により、病原菌の飛散が予想される。
- (3) 10月25日付け3ヶ月予報(気象庁発表)では、今後1ヶ月は気温は高めで、降水量は平成並又は少ない予想であり、発病の進展も考えられる。

4 防除対策

- (1) 発病の激しい株や病葉は早急に取り除く。
- (2) 初発を見たら、ただちに殺菌剤を散布する。
- (3) 肥料分の流亡とあいまって広く発生することがあるので、肥切れさせないように管理する。
- (4) 排水不良や水のたまりやすい場所で発生しやすいので、排水対策を実施する。
- (5) 前年に発生があった圃場では予防散布を心がける。

5 防除薬剤

防除薬剤の例を下記に示した。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

作物名	薬剤名	F RACコード	予防・治療剤分類
野菜類	Zボルドー	M1	予防剤
ダイコン	ヨネポン水和剤	M1	予防剤
	カセット水和剤	31+24	予防剤 + 治療剤
	カスミンボルドー	24+M1	予防剤 + 治療剤
	カッパーシン水和剤	24+M1	予防剤 + 治療剤

Zボルドー：薬害が懸念される場合は、クレフノン(100～200倍)を加用する。
カスガマイシンの総使用回数は3回以内。カスガマイシンの混合剤であるカセット水和剤、カスミンボルドー、カッパーシン水和剤の合計散布回数は3回以内とする。

神奈川県農業技術センター
病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>